

# 一 般 質 問

議席番号	4	議員氏名	津久井大雄
項目・要旨	1. 寄居町の子育て施設の今後について		
	<p>深谷市では、令和8年4月1日に県内最大級の子ども向け複合施設「こどもふっかパーク」をオープンします。1階に「深谷市立ふかや幼稚園」、1階の一部と2階が「こどもふっかパーク」になる施設です。0歳から18歳までの子どもが安心して遊び・学ぶことができ、保護者同士も交流し相談できる施設です。利用料は市民は無料、市外在住者は未就学児が無料、小中学生が100円、高校生以上は500円です。</p> <p>また、熊谷市も令和8年4月1日に「子育て支援・保健拠点施設（くまキッズ）」をオープンします。妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援や保健活動を行う施設で、4棟5施設からなる施設です。未就学児から小学生までの親子が利用できるプレイルームや、中高生を対象とした音楽スタジオ・軽体育室が設置されています。市内3か所を統合した児童クラブもあり、市立の中央保育所・保健センター、そして熊谷市休日・夜間診療所も併設されています。</p> <p>伊勢崎市や藤岡市でも、同様の子育て支援に特化した複合施設が昨年オープンしております。</p> <p>そこで伺います。</p>		
	<p>(1) 近隣の市町では子育て支援に特化した複合施設が次々とオープンしております。全国的に少子化が進む中、子育て環境の充実は自治体間競争の重要な課題となっています。</p> <p>先日、町内の子育て支援センターに訪問した際、「寄居だけ取り残されているから何とかして欲しい」と保護者の方から強く言われました。寄居町では現在の子育て環境や施策についてどのように評価し、どのような課題認識を持っているのか伺います。</p>		
	<p>(2) 熊谷市、深谷市の子育て向けの複合施設が完成しオープンしたら、移住定住の流れもこの県北地域で変化すると思います。寄居町では、こうした影響についてどのような分析や将来予測を行っているのか伺います。</p> <p>(3) 寄居町総合社会福祉センター（かわせみ荘）内の児童館は現在休館中です。今後の、再開や機能の見直しなど、方向性について伺います。</p> <p>(4) 寄居町立図書館の2階の環境ですが、子どもたちが利用するには照明が暗すぎです。LED照明工事を含め壁紙等を明るくリフォームすべきだと思います。町の考えを伺います</p>		
2. 子育て支援の課題について			
<p>令和8年度の行財政運営に関する所信表明では「少子化対策の充実・強化」を掲げています。小中学校の給食費無償化、保育料の無償化を実施するとされています。近</p>			

年、子どもを持たない、兄弟・姉妹をつくらない理由として子育てや教育にかかる経済的負担や、育児に伴う心理的・肉体的な不安があげられています。経済的な負担が重く、将来に対する不安から子どもを持つ決断ができないという声も多く聞かれます。子育て支援は、若い世代に選ばれ続ける自治体であるかどうかを示す通知表であると思います。

そこで伺います。

- (1) ライフステージに応じた子育てに関する経済的支援について具体的な施策や今後の展開について伺います。
- (2) 共働き・共育で夫婦を支援する施策について、どのような取り組みが進められているのか伺います。

### 3. 寄居町における転入者の動向と課題について

広報よりいでは毎月、出生・死亡・転入・転出の統計が掲載されています。そこで伺います。

- (1) 年代別の人口増加について伺います。
- (2) 転入してきた家庭の前住居地について、どの地域からが多いのか伺います。(埼玉県内の〇〇町や〇〇県など)
- (3) 外国人の転入・転出に関する割合、動向について伺います。
- (4) 転入者には寄居で永住してもらい、住み続けてもらいたいと思います。しかし、前居住地の市町村との違いにより問題も生じているのではないかと思います。

そこで伺います。

- ① ゴミの分別や回収回数に関する問題
- ② 小中学校での問題 (タブレットなど)
- ③ 水道料金について (寄居町の水道料金が他の地域に比べて高い)
- ④ 介護問題 (介護認定まで期間や手続きについて)
- ⑤ 転入者が犬を飼っている場合、狂犬病予防法に基づき、市町村に届ける義務があります。犬を飼っている転入者が増えているか伺います。

# 一 般 質 問

議席番号	6	議員氏名	本 間 政 道
項目・要旨	1. 自治会活動の支援と地域防災について		
	<p>第6次寄居町総合振興計画後期基本計画において、基本目標3、基本方針(3)の基本施策②「地域コミュニティの活性化」では、自治組織と行政だけでなく、コミュニティ協議会の構成団体とも連携を深め、コミュニティ協議会活動を活性化させていくことが必要とあります。</p> <p>また、基本目標4、基本方針(1)の基本施策③「公共施設の機能性・利便性の向上」では、厳しい財政状況が続き、人口減少や少子高齢化などの人口構造や住民ニーズが変化する中で、公共施設について、適正な規模・配置で効率的な運営・維持管理を継続できるよう検討していくことが必要です、とあります。</p> <p>さらに、基本目標4、基本方針(3)の基本施策②「地域防災力の強化」では、主な取り組みの一つとして、指定避難所の整備・運営があります。</p> <p>このようなことから、自治会の役割は防犯・防災・福祉など多岐にわたり、公益事業として重要な役割を果たしています。自治会活動の拠点となる地区公会堂は、地域コミュニティの維持という観点からも重要性は高いと考えます。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) 自治会が町有地の賃借料を確認したところ、想定以上の金額であったため、自治会活動への影響や役員の負担増が懸念され、計画の実施を躊躇している状況です。この賃料設定の根拠について伺います。</p> <p>(2) 地区公会堂が、町有地を借りる場合、一般的な営利目的の賃貸とは異なり、優遇された扱いにすることができるのか伺います。</p> <p>(3) 現在、地区公会堂で賃貸借している期間や金額、条件等契約内容を伺います。</p> <p>(4) 寄居町の「財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例」に基づき、「公益上の必要があるとき」として町長の判断で減額されるとありますが、どの程度の減額になるのか伺います。</p> <p>(5) 現在、寄居町の普通財産で使用されていないものがどれくらいあるのか伺います。</p> <p>(6) 町では老朽化した地区公民館などの施設を集約・統合し、地区公会堂の担う役割の強化を進めていると考えますが、町の施策の中で、地区公会堂はどのような位置付けになるのか伺います。</p> <p>(7) 現在、地区公会堂は寄居町の指定避難所にはなっておりませんが、防災倉庫が設置されています。今後、地区公会堂が指定避難所になる可能性について、町の方針を伺います。</p> <p>(8) 今後、自治会から地区公会堂を避難所にするなど要望があれば協議の場を設けることは可能なのか伺います。</p>		

## 2. 水道スマートメーターの導入について

寄居町では持続可能な安心・安全な水を安定供給するため、水道施設の維持管理を見据えた水道料金の改定が行われました。しかし今後、物価高騰や人手不足、人件費の上昇等により、さらなる値上げがあるかと思えます。

そのような中、経営基盤の強化と業務効率化を図る手段の一つとして、水道スマートメーターの導入が有効ではないかと考えます。

戸田市では、水道スマートメーターの導入により、スマートフォンで水道使用量を確認したり、独居高齢者宅で24時間水道使用が無い場合に、親族へ通知する見守り機能を構築し、福祉コストの削減にも繋げています。

そこで水道事業の経営効率化について伺います。

- (1) 今後水道料金のさらなる値上げを抑制するため、経営効率化の目標及び具体的な施策を伺います。
- (2) 寄居町の水道メーター検針業務にかかる費用と従事人数を伺います。
- (3) 検針漏れや誤検針の状況、また難検針場所があるか伺います。
- (4) 町が考える水道スマートメーターのメリット、デメリットを伺います。
- (5) 今後、人件費高騰などの要因から、検針業務委託費はどのように推移すると見込んでいるのか伺います。
- (6) 水道スマートメーター導入にあたり、国や県の補助金制度などがあるか伺います。
- (7) 寄居町の水道事業の持続可能性および維持管理の観点から、水道スマートメーター導入は可能か伺います。

# 一 般 質 問

議席番号	3	議員氏名	吉 田 林 藏
項目・要旨	1. 金婚・ダイヤモンド婚のお祝いについて		
	<p>町長は、「健康寿命を延ばし、元気で長生きしてほしい」との思いをお持ちです。この思いを踏まえて、近隣の町村では金婚・ダイヤモンド婚を迎えたご夫婦をお祝いしています。</p> <p>具体的には、東秩父村では「金婚16組」、嵐山町では「金婚15組・ダイヤモンド婚6組」、滑川町では「金婚23組」、吉見町「金婚30組」で、25年前から実施されています。これらの町では、社会福祉協議会が敬老会や特別の日を設けて実施しています。贈呈品としては、ペアグラス、卓上時計、茶碗・箸セット、記念写真などが贈られ、該当者の方々に大変喜ばれています。令和6年12月定例会で同僚議員がお祝いの施策について質問しましたが、当町におきましても、同様のお祝いを行うことができないのか改めて町の考えを伺います。</p> <p>(1) 町では、金婚・ダイヤモンド婚のお祝いを前回の質問以降、検討したのか伺います。</p> <p>(2) 現時点で、町内に金婚・ダイヤモンド婚に該当するご夫婦が何組いるのか伺います。</p>		
	2. エデュテインメント「教育版」ゲーム導入について		
<p>エデュテインメントとは、教育（Education：エデュケーション）と娯楽（Entertainment：エンターテインメント）を組み合わせた教育的要素を持つコンピュータゲームを指します。このゲームは、コンピュータゲーム会社等が提供し、学校は無料で利用できるものもあります。例えば、ゲーム内のすごろくの目によって止まったマスでは、その地域の人口や特産物などの地理情報が表示されます。また面上の建物や食べ物からも関連情報を得ることができ、GIGAスクール構想で配備したコンピュータなどで利用できます。子どもの学ぶ意欲を高める取り組みとして、娯楽を学びの入口とするエデュテインメントという手法を多くの小・中学校で授業に活用しています。当町でも「教育版」ゲームの導入検討をしていただけるか町の考えを伺います。</p> <p>(1) 令和5年1月に無償提供が始まりましたエデュテインメントについてすでに把握し、「座学が苦手な子どもたちへの学びのきっかけの提供」などの利点から、導入を検討したことがあるのか伺います。</p> <p>(2) 学習用教材として、不登校の児童・生徒への支援の面でも有効と考えられます。町の考えを伺います。</p>			

# 一 般 質 問

議席番号	2	議員氏名	浅 見 玲 子
項目・要旨	<p>1. 学校の女子トイレに生理用品の配備をすることについて</p> <p>内閣府男女共同参画局が「生理の貧困」に関する地方公共団体の取り組みについて毎年調査をしています。なぜ男女共同参画局がこの問題に取り組んでいるかということ、女性特有の負担を軽減することが、女性の活躍の機会を保障できるということに立脚しているからです。女性特有の負担の中で、自力ではどうしようもないことが「生理」です。腹痛や頭痛、吐き気、倦怠感といった身体的な悩み、月経前症候群によりイライラしたり、気分が落ち込んだり、集中力の低下といった精神的・心理的な悩みが、個人差はありますが多かれ少なかれあります。さらに、1回の生理で20枚から25枚のナプキンが必要となり、家計が厳しい家庭では、ナプキンの購入をためらうこともあるようです。</p> <p>初潮を迎える年齢はおおよそ10歳から12歳とされています。小学校高学年にあたりますが、それから長い人生で女性特有の負担を少しでも軽減するために、トイレットペーパーと同じようにナプキンもトイレに配備すべきと考え、伺います。</p> <p>(1) 当町において、男女共同参画の取り組みの一環として、「生理の貧困対策」について検討されているのか伺います。</p> <p>(2) 学校トイレへのナプキン配備について、年々小中学校のトイレの個室に配備する自治体が増えています。以前、当町では同様の質問に対し、「ナプキンが必要な時は、保健室に貰いに行くことが、生徒の実情が分かってよい。」との回答でしたが、実際に保健室に貰い来たケースについて、これまでの実績（件数、枚数）について伺います。</p> <p>(3) トイレットペーパーも女性の場合、排尿時にも使用するため、男性よりも多く使います。それは性差として理解されていると思いますが、生理も同様に女性特有の現象です。トイレットペーパーと同様にナプキンもトイレの個室に配備すべきと考えますが、見解を伺います。</p>		
	<p>2. 小学校でのタブレットの使用について</p> <p>町内の小中学校のタブレット端末が更新の時期となり、児童生徒の手元には新しい端末が届いています。中学生の「寄居ふるさと探究学」など、タブレットを活用した学習に一定の成果がみられることは承知しています。</p> <p>しかしながら、子どもの視力への影響や鉛筆を持って字を書く力、脳の発達への影響などを考えた時、不安は増すばかりです。そこで伺います。</p> <p>(1) これまで、タブレット端末の使用が、児童生徒の視力に与える影響について調査したことはありますか。</p> <p>(2) ドリルやテストもタブレット活用の割合が増えてきているようですが、紙に文字を書く力（筆圧）は落ちていないのか伺います。</p>		

- (3) 小学校1年生では、ひらがな、カタカナ、漢字の習得が進められますが、低学年におけるタブレット端末の導入時期について伺います。
- (4) 昨年は夏が猛暑で、児童生徒は重いタブレットの持ち帰りが大変だったと思います。夏の間の持ち帰りについて配慮や見直しを検討する考えはあるのか伺います。
- (5) 保護者から、視力や身体的・精神的発達への影響などについて不安の声は寄せられているのか伺います。

### 3. 選挙投票所出入り口の手すり設置等について

2月8日に執行された衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査は、午前中の雪で足元の悪い中での投票となり大変でした。午後から頑張って投票に出かけられた町民から、投票所の環境についていくつかのご意見・ご要望が届きました。

そこで伺います。

- (1) 鉢形公民館の投票所の出入り口は階段状になっており、手すりがなく、高齢者の方から「足元が不安定で、怖くて二度と来たくないと思った。」と言われました。車いす用のスロープも、降雪時には滑りやすくもっと怖かったそうです。投票所は、普段の出入り口とは別ですが、高齢者も含め多くの町民が利用する場です。安全性の観点から手すりをつけるべきと考えますが、見解を伺います。
- (2) 町内の他の投票所においても、出入口の安全性やバリアフリー対応について同様の課題はないか伺います。
- (3) 健康のため徒歩で投票に来られた方が、「片道歩いたら疲れてしまったが、座る所がなかった。」と嘆いておりました。投票所の外に椅子を設置するなどの配慮がほしかったと思うのですが、今後の対応について伺います。

### 4. 保育における障がい児加算について

近年、こだわりが強く集団生活に馴染めない子や、人とのかかわりが苦手な子など、中度・軽度の発達障がいを抱える子どもが保育園に入園してきています。これまで、県から2万円、市町村から2万円の補助金が交付され、保育士の加配などの人件費にあてられました。しかし、令和8年度をもってこの補助金が廃止され、今後は国の障害児保育に係る地方交付税措置で対応すると聞きました。この変更により市町村によって、障がい児保育にかかる予算に差が生じてしまいます。近隣自治体でも実際のところ、対応に差が出てくるようです。そこで当町の対応について伺います。

- (1) 令和7年度における障がい児加算の対象数は、公立保育園および民間保育園それぞれ何人でしたか。
- (2) 障がい児加算の支給要件として診断書の提出を求めていますか。
- (3) 近隣の市町村との情報交換は行われていますか。
- (4) 民間保育園がきびしい経営になることをどう考えていますか。

# 一 般 質 問

議席番号	1 2	議員氏名	鈴木 詠 子
項目・要旨	1. 介護における「担い手確保」と「負担軽減」について		
	<p>(1) スケッター事業による担い手確保、福祉インフラの強化について</p> <p>福祉業界の人手不足が深刻化する中、介護など福祉事業所と、地域の有償ボランティアをインターネット上でつなぐマッチングサービス「スケッター」事業が注目されています。食事の配膳やレクリエーションなど介護資格が不要な業務を、地域住民が有償ボランティア「スケッター」として担うことで、福祉現場のインフラ強化につなげる事業です。</p> <p>茨城県大子町は2023年1月から、埼玉県川口市は2024年7月から連携協定を結び、事業を開始しています。川口市では、厚生労働省の補助金「介護未経験者等マッチング強化モデル事業」を活用して予算化。開始半年で500件近い応募があり多くのマッチングが成立しています。そこで町の考えを伺います。</p> <p>① 介護職員の業務負担軽減の観点から、無資格者による補助的業務の担い手確保の必要性と「スケッター」のような仕組みを通じて、地域の方が高齢者施設に関わることの意義とその可能性について伺います。</p> <p>② 実施している各自治体ではスケッター登録を繋げる役割として住民へ呼びかけ（周知）を行っていますが、今後連携協定の考えがあるか伺います。</p> <p>(2) 要介護認定者への特別障害者手当の支給について</p> <p>特別障害者手当は、20歳以上の身体または精神の重度の障害により、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態の方に対し行われていますが、要介護認定4・5の方は、日常生活で常時介護を必要とする状態にあるため、特別障害者手当の対象となる可能性が高いとされています。しかし、介護保険の利用者が障害福祉の手当について知らないケースが多くあることから、深谷市ではホームページで特別障害者手当の対象者に「要介護4、5相当の一部のかた」との記載があり、周知に努めているようです。そこで町の考えを伺います。</p> <p>① 要介護認定4・5の認定者数と、そのうちの特別障害者手当の受給者数について</p> <p>② 当町での現状の認識と今後の周知について</p> <p>(3) 要介護認定者への障害者控除について</p> <p>当町では65歳以上の要介護3～5の方、またはその方を扶養している親族も「障害者控除」を受けられるとされていますが、熊谷市では、65歳以上の要介護1～5の方、及び要支援1・2の方でも特例的な場合において控除の対象とする認定基準を定めています。障害者手帳を持っていなくても、障害に準ずる状態の人の「障害者控除対象者認定書」を発行するかどうかについては市町村の判断としていることから、このような自治体間での違いが生じています。そこで当町の考えを伺います。</p>		

<ul style="list-style-type: none"> <li>① 当町での要介護認定者の障害者控除の現状について</li> <li>② 介護費用負担軽減の観点から、要支援・要介護認定者へのさらなる対象者拡大について</li> </ul>
<p>2. ハラスメント対策の強化について</p>
<p>埼玉県は、2025年12月の県議会でカスタマーハラスメント防止条例を制定し、2026年7月1日施行を予定しています。埼玉県条例では、民間企業を含む県内のすべての事業者に対し、カスタマーハラスメント（顧客からの悪質な言動）から働く人を守るものとしています。当町でも2024年12月に寄居町議会ハラスメント防止条例を制定し、議員同士及び、議員から職員へのハラスメントを防止するための取り組みが始まっていますが、今後さらなる町職員の職場環境の整備の中で、ハラスメントに対する強化策が必要と考えます。</p> <p>そこで伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 町職員におけるハラスメントのチェック体制、相談窓口について</li> <li>(2) カスタマーハラスメントを含む外部からの迷惑行為への対応について</li> <li>(3) 啓発活動や研修の実施状況</li> <li>(4) ハラスメント防止のための条例制定について</li> </ul>
<p>3. 手話通訳士派遣事業について</p>
<p>寄居町では、2024年に「手話言語条例」を制定し、手話を言語として尊重し、共生社会の実現を目指すための一環として、手話通訳者の派遣事業も行われています。この派遣事業は、聴覚や音声・言語機能に障害のある方が、社会生活の中で円滑にコミュニケーションを取れるように支援するもので、当町では埼玉県聴覚障害者情報センターへ委託され、必要に応じて、手話通訳者や要約筆記者が派遣されるとしています。しかしながら、当事者の利便性の観点から、近隣自治体同様、地域を知る手話通訳者が派遣できる町独自の派遣事業の実施をとの声をあります。そこで町の考えを伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 寄居町の手話通訳士派遣事業を実施していない理由は</li> <li>(2) 必要な財源や通訳者の育成等含む人材確保について</li> <li>(3) 寄居町手話通訳士派遣事業の実施について</li> </ul>

一 般 質 問

議席番号	5	議員氏名	久 保 鷹 矢
項目・要旨	1. 職場環境について		
	(1) 人事評価において、評価者（1次・2次）による不均衡の是正その他必要と認める評価をした際「調整者」や「人事評価調整委員会」では、どのような基準で調整が行われているか伺います。		
	(2) 「特定事業主行動計画」に基づき、休暇の取得促進のため職場の意識改革、相互応援のできる体制を目指すとのことですが、具体的な施策と課題について伺います。		
	(3) 交際費の検討状況 ① 過去質問しました会合等参加費の公費基準について、検討状況を伺います。 ② 前回の質問で、年間最大6万6,000円の負担をしている職員がいるとのことでした。会費の自己負担による課題について、どのように考えているか伺います。		
	(4) 人事異動について ① 具体的に職員の希望やキャリアビジョンをどのように把握しているのか、現状について伺います。 ② 人事異動の決定において、『課在籍年数』と『最適配置』のバランスをどのように考慮し、運用しているのか、現状の方針を伺います。 ③ 異動時の事務引継ぎが「発令から5日以内」と条例で定めていますが、期間内に実質的な引継ぎが完了しているのか、現状と課題について伺います。		
2. 公共施設等総合管理計画について			
(1) 「社会情勢やニーズに合わせ適宜見直しを行う」とありますが、見直しの判断を下すための具体的な数値指標や判断基準を伺います。			
(2) 公共施設の総床面積33%削減について、算出根拠を伺います。			
(3) アセットマネジメント推進会議の開催頻度と直近の議題について伺います。			
(4) 町民との情報共有の中に問題意識の共有と記載があります。計画策定後からの程度町民に周知ができていると分析されているのか、これまでの実績と課題について伺います。			
(5) 保有する財産の基本方針に、「民間の力」の利用など公民連携の必要性が述べられております。現在の検討内容や課題について伺います。			
3. 寄居町DX推進計画の進捗確認について			
(1) フロントヤード改革について ① 各取り組みを実施していく中で、「住民へのユーザーテスト実施」や「使い勝手の満足度調査」等ユーザー目線でのフィードバックが得られる仕組みづくり			

があるか伺います。

- ② 官民データの利用等の促進について、町のデータはどこまで公開されているか、現状と目標数を伺います

(2) バックヤード改革について

- ① 庁舎内における申請業務・決済業務の電子化・デジタル化について現状を伺います。
- ② 本計画ではB P R（業務改革）の徹底を前提としていますが、各課の既存業務の課題を洗い出す際、全庁的にどのような手順で業務の見直しをしているのか、具体的な運用実態を伺います。

(3) 適正な推進体制・基盤の整備について

専門的な視点の必要性から、外部人材の任用について国の指針でも述べられています(C I O補佐官等)。外部人材の任用について見解・検討状況を伺います。

(4) デジタル人材の育成について

- ① 現在の人事評価制度で、デジタル人材に関連する能力や実績がどのように評価されるのか伺います。
- ② デジタル人材の確保の難しさから、育成や確保において広域連携の必要性があると考えられています。県や他自治体との連携について現状と見解を伺います。
- ③ 職員のスキルアップ支援について、研修環境の整備と自己啓発の支援とありますが、毎年度の支援項目の見直しや職員のニーズに合わせた運用がされているのか伺います。

# 一 般 質 問

議席番号	7	議員氏名	保 泉 周 平
項目・要旨	1. 農地利用地域計画について		
	<p>令和7年3月の定例会において、人と農地の確保について質問いたしました。しかしながら、高齢化や人口減少が進行する中で、農業従事者の減少、さらに耕作放棄地の拡大が想定されます。</p> <p>そのため、今年度においては町内の農業を担う皆さんと話し合いを行い、10年後を見据えて目指すべき将来の農地利用の姿をまとめた「地域計画」を7年3月末に作成予定であります。と回答を頂きました。そこで伺います。</p>		
	<p>(1) 地域計画はどのような内容ですか伺います。</p> <p>(2) 地域との話し合いの状況を伺います。</p> <p>(3) 農地の集約化、中間管理等につながりますか伺います。</p> <p>(4) 農業従事者の高齢化と後継担い手問題等、構造転換が望めるか伺います。</p> <p>(5) 計画の中には地域への産業導入に関する計画も含めるのか伺います。</p>		
	2. 全国健康福祉祭埼玉大会について		
<p>「ねんりんピック彩の国さいたま2026」が令和8年11月に開催予定です。60歳以上の方々を中心にスポーツや文化種目の交流大会をはじめとする全国健康福祉祭埼玉大会は、人生100年時代の「交流・共有・実感」をテーマに展開され、健康長寿にふさわしい大会と考えます。そこで伺います。</p>			
<p>(1) 県内の全市町村が開催に参加する対象になっているのか伺います。</p> <p>(2) スポーツ開催種目において、寄居町からの出場者やクラブが対象となる予定はあるのか伺います。</p> <p>(3) 健康・福祉関連イベント等が開催されますが、このイベントが健康長寿につながらないか伺います。</p> <p>(4) 寄居町からのイベント参加は予定されているのか伺います。</p> <p>(5) 寄居町総合振興計画後期基本計画の基本目標3「支え合いとふれあいのある健康長寿の町」にも関連する内容と考えますが、町の見解を伺います。</p>			

# 一 般 質 問

議席番号	14	議員氏名	稲山良文
項目・要旨	1. 峯岸町長の1期4年の町政運営について		
	<p>近年、国内では、少子高齢化の進展、貧困問題、エネルギー価格の上昇に伴う物価高騰、気候変動問題、大規模災害への対応など、町民生活に直結する様々な課題に直面しています。</p> <p>本町も例外ではなく、今後、生産年齢人口の減少による町税収入の減少や高齢化に伴う社会保障費等の増大など、大きな転換点にあると認識しています。さらに、公共施設の老朽化に伴う、修繕や更新にも多額の費用を要することが想定され、これまで以上に中長期的な視点に立った財政経営が求められています。</p> <p>このような中、峯岸町長は、『誇りある美しい町、寄居』を皆様と共に作りたいと、令和4年8月の就任以来、町政運営に取り組んでこられました。</p> <p>峯岸町長の寄居町にかける情熱は不変であり、しっかりとした裏付けと目標をもった政策を遂行するため、役場庁舎内はもちろん、議員並びに町民の皆様と積極的に対話をされております。執行と議会の関係についても、議会のチェック機能が十分に生かされた、バランスの取れたものになっていると思います。</p> <p>ここで、本年8月、1期4年間の任期を迎える町長に、これまでの取組の総括を、実績を踏まえてお伺いします。</p>		
	2. 峯岸町政2期目への決意について		
<p>令和8年度の行財政運営に関する所信表明を見ますと、「令和8年度は、町民のみなさまが、真に誇りを持っていただける町とすべく、町の諸課題に対して、大胆かつ果敢に事業を展開し、一層の磨きをかけてまいります。」と示されました。</p> <p>確かに、これまで町長は、「少子化対策の充実・強化」、「地域内経済循環の促進」、「教育施策の充実・強化」、「健康長寿事業の積極的展開」を重点目標に掲げ、時宜を得た施策を精力的に展開し、成果を上げてこられました。令和8年度は、保育料の無償化や小中学校の給食費無償化、総合体育館・アタゴ記念館や中学校体育館への空調設備整備など、更なる推進を図っておりますが、現在策定中の、次の10年間を見据えた第7次総合基本計画にはどのようなお考えで、町の将来像を見据え責任をもって取り組まれるのか。</p> <p>今後の町政運営に対する峯岸町長の決意について、はっきりと聞かせていただきたいと思ひます。</p>			

# 一 般 質 問

議席番号	1	議員氏名	里 見 夕 子
項目・要旨	1. 低学年からの生理教育の充実について		
	<p>近年、全国的に小学校低学年から初経を迎える児童が増加しています。しかし、現状では生理に関する教育が高学年から始まるケースが多く、低学年で初経を迎えた児童が十分な知識や準備を持たないまま学校生活を送っている実態があります。その結果、トイレを我慢して膀胱炎などの感染症や腹痛、便秘を引き起こすケースや、ひとりではうまく対応できず、痛みや不安から生理期間中に学校を欠席するなど、健康や学習機会に少なからず影響が出ています。寄居町においても児童の健康と学びの保障のため、低学年からの実践的な生理教育の充実させることが必要と考えます。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) 寄居町において小学校の生理教育はどの学年から、どのような内容で実施されているか伺います。</p> <p>(2) 生理対応に必要なトイレ環境整備について、現状と課題を伺います。</p> <p>(3) 学校でのサポート体制はどのようになっているのか伺います。</p>		
2. ヘルプマークの普及促進とヘルプシール導入活用について			
<p>ヘルプマークは外見からは分かりにくい障がいや病気、妊娠初期など支援や配慮を必要とする方々が、そのことを、周囲に伝えるための大切なツールとして全国的に普及が広がっています。社会全体で「見えない困難」に気づき、支え合う文化を育むうえで、重要な役割を果たしています。寄居町においても、障がいの種別や等級、病名に関わらず希望者に無償で配布されていますが、十分に周知されていないように見受けられます。また、バックにつける形式のヘルプマークでは使いづらいという声もあり、より柔軟に使える「ヘルプシール」を導入する自治体も増えています。こうした背景を踏まえ、寄居町としてもヘルプマーク・ヘルプシールの普及と活用を進めることで、誰もが安心して暮らせるまちづくりにつながると考えます。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) 現在、寄居町におけるヘルプマークの周知・啓発はどのように行われているか伺います。</p> <p>(2) 町民が、より気軽に利用できるヘルプシール導入について、町の見解を伺います。</p> <p>(3) 災害時や緊急時、ヘルプマーク・ヘルプシールを迅速な支援につなげる運用について町の見解を伺います。</p>			

一 般 質 問

議席番号	10	議員氏名	大澤 博
項目・要旨	1. 農業支援について		
	<p>新規就農者に対して、国の支援策として就農直後の経営を支援する資金「経営開始資金」があります。この資金は、月額12.5万円（年間150万円）を最長3年間交付する制度です。当町においても、新規就農者が支援を受けている方がいると考えます。しかし、農業者は資材・農業機械等の物価高騰の影響で経営が厳しい状況になっています。</p> <p>令和7年9月議会で、秩父市の営農継続支援補助事業を例に質問しました。農業者を支援し食料自給率向上をさせるため伺います。</p> <p>(1) 新規就農者は、資材・農業機械等の物価高騰の影響が大きく「経営開始資金」だけでは就農経営が厳しく、農業以外の事業に取り組んでいます。町独自の事業として「経営開始資金」終了後に、期間限定で2年間の経営支援を行うことができないか伺います。</p> <p>(2) 高齢化と農業機械の故障が原因で、農業をやめる農家が増加していると考えます。使用しなくなった農業機械の一覧を作り再利用できる、農業機械バンク設置が必要と考えますが、町の考えを伺います。</p> <p>(3) 令和7年9月議会で質問した、秩父市が行っている営農継続支援補助事業について、町としての検討状況はどうなっているのか伺います。</p>		
	2. 補聴器購入補助について		
<p>認知症防止に補聴器が有効と言われていますが、高価で年金生活者には負担が大きく購入を見送る方が多いと考えます。同僚議員がこのことについて数回質問していますが、各市町村で事業の目的や想定される効果が異なっていること、高齢化率の上昇が見込まれ、事業を新設することは、事業の有効性や財源の確保などを総合的に判断します、との回答がありました。高齢者への補聴器購入補助について伺います。</p> <p>(1) 補聴器購入補助制度が設けられない理由について伺います。</p> <p>(2) 補聴器購入補助制度を実地するために、実証試験として人数と補助金額を限定して実施し、補助制度の効果を確認することについて、町の見解を伺います。</p>			

一 般 質 問

議席番号	15	議員氏名	原 口 孝
項目・要旨	1. 企業誘致について		
	(1) 企業誘致が重要であることは町としても認識していると思いますが、戦略的な企業誘致計画は策定しているのか、伺います。		
	(2) 土地の提供だけでなく、どのような企業誘致が地域経済に貢献すると町は考えているのか、町のビジョンを伺います。		
	(3) 開発において地域や業者との役割分担をスピーディーに進めることが重要であると考えますが、町の考えを伺います。		
	2. 介護保険事業について		
	(1) 町単独での介護事業を担うため、近隣の寄居町同等の自治体に職員を派遣し研修を行う必要があると考えますが、実施計画はあるのか伺います。		
	(2) 目前に迫っている町単独での介護行政を行うために、専門的に調査研究させる職員を配置すべきだと思います。そのような準備が整っているのか伺います。		
	3. 寄居ふるさと探究学シンポジウムでの町長への提案について		
<p>寄居ふるさと探究学シンポジウムで、城南中学校生徒から「健康の町、寄居」の創造についての提案がありました。自然を活用したサイクリングコース・アスレチックを整備し体力の向上、健康増進を図る提案でした。</p> <p>そこで伺います。</p>			
(1) 自転車活用を町の健康増進計画に位置付ける考えはあるのか、伺います。			
(2) 医療費適正化やフレイル予防の観点から、自転車活用に政策的効果があると考えますが、取り入れるべき施策かどうか町の見解を伺います。			
(3) 「ヨッテコ」を起点にした回遊性の向上とサイクリングコースの設定は、観光戦略においてどのように位置付けられると考えますか。町の見解を伺います。			
(4) 放置自転車の再利用による循環型政策として、再整備してレンタルなどに活用する場合、どのような課題や問題が発生し、その対策方法について町の考えを伺います。			
4. 三ヶ山体育館運営について			
(1) 三ヶ山体育館は、埼玉県が推進してきた循環型社会政策の一環として整備されたものであり、単なる「採算施設」ではなく、地域との信頼形成を象徴する施設であると考えます。町としてはどのように受け止めているのか伺います。			
(2) 令和7年12月議会で動議が可決されました。その後、議員全員協議会において町と考え方だけが説明されました。話し合いを通じて決めていくプロセスは民主主義の核心であると思いますが、町考えを伺います。			

(3) 議会の意思表示を形式的に扱うことは、政治的には非常に危険な行為と認識しています。町の行政の姿勢を伺います。